

平成29年度 学校評価のまとめ (概要)

1. 本校の状況 (教育環境、教育目標等)

- (1) 那覇市内の中学校の中で生徒数が一番多く、職員数や各種相談員等の数も多い。
- (2) 平成25年2月に新校舎へ移転し、新たな教育環境のもとで教育活動を推進している。
- (3) H27、28年度教委、文科省指定研究成果を踏まえ、継続して「学力の向上」、「授業改善の充実」に取り組んだ。
- (4) 小中一貫教育の4年間の実践から課題が明確になり、組織体制や取組等の改善に取り組んだ。
- (5) 中期経営計画を策定し、課題の明確化と取り組みの重点化を図っている。

2. 今年度の学校の取組状況 (自己評価等の結果より)

(1) 学校経営

- ☆【教育課程全般】【生徒指導等】【学校運営】については、概ね順調に取り組まれている。
- 特に「授業時数の管理確保」「ねらいを明確にした総合の授業」「生徒指導方針等の共通理解による実践」「生徒指導における連携」「校内研修の充実」等においては年々取り組みの充実が図られている。
- 「道徳教育」「特別活動」においても取り組みの充実が図られているが、共通実践が弱い。

- ★【連携 (保護者や地域)】については、評価が3点以下と低い。過年度と比較しても今年度の評価が最も低く、大きな課題の一つとなっている。
- 学校行事への参加率は高い状況にあるが、毎月の授業参観は低い。

(2) 今年度の重点事項

- △【健康・体力の向上】については、概ね順調に取り組まれている。
- 教師アンケート (教師から見た生徒の実態) における「危険の判断・安全な行動」は、3点を割り、徒の体力の状況は、全国体力運動能力調査総合得点で男子が全国を、男女で県を上回った。

★【確かな学力の向上】については、やや課題が残る結果となった。

- 「授業改善の推進」「学習評価の改善充実」については、概ね順調に取り組まれている。
- 学習面における教師アンケートの得点は年々下がっており、今年度は4項目で最も得点が低かった。
- 「家庭学習の改善充実」については、過去3年間3点には及ばず、昨年より評価を下げ、過去3年間で最低となり、さらなる対策が必要である。
- 「個別指導の充実強化」の評価は昨年より評価は上がったが、3点にも届いていない。具体的な改善策が必要である。
- 各種調査等による生徒の学力の状況は、1年生が全国よりやや高いレベル。
- 2年生が県よりも高く全国よりやや低く、3年生が県より低いレベルとなっている。

★【集団への適応】については、取組状況と結果において大きな課題が見られる。

- 「挨拶運動の充実」については、昨年より評価を上げ、3点を超えて過去最高の評価となった。
- 教師アンケートの「気持ちのよいあいさつ」の得点は、昨年より高いが得点は2.58である。
- 「身なりやマナー指導の充実」については、昨年より評価を下げ3点を割った。教師アンケートにおける「礼儀正しい態度」の得点も昨年より高いが、3点を割った。
- 「学級や学年経営の充実」「適応指導等の取組充実」については、評価が3点を超え、概ね取組みとしては順調だが、教師アンケート「学級の一人として集団の質を高める意識」の得点は2.86 (過去最低) と低く、結果に結びついていない。
- 不登校が昨年より増加し、次年度は取り組みの再検討と実践の強化が必要である。

★【社会性の向上】についても大きな課題が見られる。

- 「役割を果たし集団に関わる意識の向上」については、概ね順調に取り組まれている。
- 「日常的なボランティアの推進」については、年々評価を下げ、今年度は過去最低となり、3点を割っている。
- 教師アンケート「積極的なボランティア」の得点は、昨年より高いが、3点に届かなかった。
- 「共通実践事項 (教室環境づくり) の取組充実」については、昨年より評価を上げ、得点3.09。
- 教師アンケート「教室内の整理整頓」の得点は、昨年より高いが、3点を割った。
- 教師アンケート「清掃活動は、丁寧に取り組み」の得点は、過去最低で得点2.86となった。

3. 次年度に向けた対応のポイント

- (1) 自己評価 (教師の取組状況) と教師アンケート (教師から見た生徒の実態) がともに低い内容について、学校全体で実践の強化を図る。
「家庭学習の改善充実」「個別指導の充実強化」「身なりマナー指導」「教室内整理整頓、清掃活動の徹底」「日常的なボランティアの推進」
- (2) 自己評価は高く、教師アンケート結果の低い内容について、取組内容や方法の見直し、自己の取り組みの振り返りなど学校全体での実践の強化を図る。
「授業改善の推進」「学習評価の改善充実」「健康安全」「体力向上」「挨拶運動の充実」「身なりマナー指導」「学級や学年経営の充実」「適応指導等の充実強化」
- (3) 上記と合わせ、生徒アンケート結果が、3点を割る項目が増え、全体的に下がってきたことに対する原因と対策を検討し取組の改善・充実を図る。

平成29年度学校評価(自己評価)の結果(最終)

那覇市立小禄中学校

区分	評価項目	評価の観点	評価			
			視点	項目	区分	
学校教育課程全般	(1) 教育目標の具現化	① 学校で意図した活動が各目標等が設定された学校 ② 各目標に達成が図られている	3.23	3.23	3.32	
	(2) 教育課程の管理	③ 年間授業計画が適切に計画されており、時数確保 ④ 各目標に達成が図られている	3.68	3.50		
	(3) 道徳・特活・総合の時間の充実	⑤ 道徳教育に充ちて、年間指導計画に基づいた ⑥ 特別授業の適切な実施が図られている ⑦ 各目標に達成が図られている	3.28	3.27		
	(4) 特別支援教育の充実	⑧ 生徒の学習の機会が確保され、共有され、共 ⑨ 特別支援教育の適切な実施が図られている	3.24	3.26		
	(5) 生徒指導等の充実	⑩ 生徒の指導が適切に行われ、教師 ⑪ 関係機関との連携が図られている	3.38	3.47		
	生徒指導等	(6) 健康・安全等の充実	⑫ 健康・安全等の充実が図られている ⑬ 危機管理が適切に実施されている	3.20	3.26	3.33
		(7) 組織運営の適正化	⑭ 組織体制が適切に機能している ⑮ 各目標に達成が図られている	3.17	3.17	3.33
		(8) 研究・研修の充実	⑯ 各目標に達成が図られている	3.40	3.40	
		(9) 施設・環境等の整備	⑰ 各目標に達成が図られている	3.37	3.37	
		(10) 小・中一貫教育の充実	⑱ 小・中一貫教育が推進されている	3.38	3.38	
学校運営	(11) 保護者や地域等の連携	⑲ 保護者や地域等との連携が図られている	2.50	2.69	2.69	
	(12) 学習意欲を向上させる	⑳ 授業改善が推進されている ㉑ 家庭学習の改善が図られている	3.26	2.84	3.03	
	(13) 全国レベルの学力を身に につけさせる	㉒ 学習指導の計画が図られている ㉓ 個別指導の充実が図られている	3.10	2.94		
	確かな学力と健康 な体力の向上	(14) 運動に対する意識を向 上させる	㉔ 保健体育の授業改善が図られている	3.45	3.32	3.16
(15) 全国レベルの体力を身 につけさせる		㉕ 運動の推進が図られている ㉖ 健康教育の充実が図られている	3.23	3.29		
(16) 元気を発せさせる		㉗ 各目標に達成が図られている ㉘ 各目標に達成が図られている	3.13	3.05		
(17) 出席状況の改善		㉙ 各目標に達成が図られている	2.97	3.05		
(18) 役割を果たし集団に関 わる意識を向上させる		㉚ 各目標に達成が図られている	3.13	3.25		
(19) 積極的に学習環境の整 えをさせる		㉛ 各目標に達成が図られている	3.28	3.16		
(20) 各目標に達成が図られている		㉜ 各目標に達成が図られている	3.03	3.00		
今年度の重点事項	(21) 各目標に達成が図られている	㉝ 各目標に達成が図られている	2.91	3.00	3.11	
	(22) 各目標に達成が図られている	㉞ 各目標に達成が図られている	3.09	3.09		

平成29年度 自己評価結果の比較（3年間の比較）

※数字の網かけは、ポイントが3点以下の項目(課題となっている項目)

区分	項目	小項目得点			□ H27 最終 ■ H28 最終 ▨ H29 最終
		H27 最終	H28 最終	H29 最終	
教育課程全般	目標の具現化	① 学校教育目標と運動した各種目標等が設定され、学校全体で意識化が図られている	3.35	3.23	
		② 各種取組の成果・課題・対応策等が各担当者のその後の取組に十分活かされている	3.16	3.23	
	教育課程管理	③ 年間授業時数等は適切に計画されており、時数確保に向けた取組がなされている	3.53	3.58	3.68
		④ 学校行事等は学校の実態に応じ、量や内容が検討され、適切に実施されている		3.38	3.32
	道徳・特色・総合の充実	⑤ 道徳教育の充実に向けて、年間指導計画に基づいた授業を適切に行っている	2.97	3.03	3.28
		⑥ 特別活動の充実に向けて、年間指導計画に基づいた授業を適切に行っている	3.11	3.09	3.18
		⑦ 全体計画や年間計画に基づき、ねらい等を明確にした総合の授業が行われている	3.28	3.22	3.35
		⑧ インクルーシブ教育の理念が学校全体で共有され、共生社会の実現に向け、取り組まれている		3.11	3.24
	特支教育の充実	⑨ 特別支援教育のための校内体制が整備され、個々に応じた適切な支援が図られている	2.97	3.35	3.27
		⑩ 生徒指導方針等が全職員で共通理解され、教師個々の役割と責任が果たされている	3.21	3.18	3.38
生徒指導等	生徒指導の充実	⑪ 関係職員(養護教諭、SC、サポーター等)や関係機関等との適切な連携が図られている	3.47	3.49	3.56
		⑫ 健康・安全について、全職員が意識を高く持ち、管理や指導の充実が図られている		3.36	3.20
	健康安全の充実	⑬ 危機管理や緊急事態等への対応に係る共通理解や訓練が適切に実施されている	3.13	3.23	3.31
		⑭ 組織体制が機能しており、全職員の協力のもとで各種活動が推進されている		3.28	3.17
	学校運営	⑮ 学校の実態に応じた研修内容が適切に設定され、課題改善に活かされている	3.33	3.39	3.40
		⑯ 校内環境整備等の取組が充実し、学校設備等の管理や活用も適切に行われている	3.27	3.41	3.37
	小中	⑰ 小中一貫教育に関する共通理解が図られ、組織的・計画的に推進されている	3.49	3.49	3.38
		⑱ 保護者やPTA等との密な連携で、学校経営等への積極的な参画・協力が行われている	2.92	2.73	2.50
	連携	⑲ 信頼され開かれた学校づくりを推進し、地域人材の活用を含め、連携が図られている	3.11	2.92	2.88
		⑳ 授業改善が推進されている 小・中・高授業スタイル、特別課題、公開・代表授業、相互授業参観等	3.21	3.34	3.26
確かな学力と健康体力の向上	学習意欲の向上	㉑ 家庭学習の改善・充実が図られている 宿題、サイコーノートの活用等	2.89	2.92	2.84
		㉒ 学習評価の改善・充実が図られている 単元指導計画作成、実践研究等	3.18	3.22	3.10
	学力の向上	㉓ 個別指導の充実・強化が図られている 計画的な補習指導、個別指導等	3.00	2.78	2.94
		㉔ 保健体育の授業改善が図られている 指定研究の推進、指導の工夫等	3.38	3.56	3.45
運動意欲の向上	運動意欲の向上	㉕ 運動意欲の向上			
		㉖ 運動意欲の向上			
	運動意欲の向上	㉗ 運動意欲の向上			
		㉘ 運動意欲の向上			

向上 ・ 体力の向上	今年度の重点事項			集団への適応と社会性の向上		
	移行・礼儀等	出席状況の改善	役割・集団	学習環境整備		
②5 部活動における共通実践等(方針・方法、他の取組との関連等)が図られている		3.19	3.23			
②6 健康教育の充実と実践強化が図られている 体育や各担当者、学級等の連携		3.31	3.29			
②7 挨拶運動の充実が図られている 各担当や学級担任等の働きかけ、 挨拶運動の広がり、その他	3.10	2.90	3.13			
②8 身なりやマナー指導等の充実が図られている 集会時、授業、各種取組の充実		3.08	2.97			
②9 学級、学年経営の充実が図られている 居場所、絆、自己肯定感の育成等	3.23	3.10	3.13			
③0 適応指導等の取組が充実している 教育相談体制、ボプラ、支援員等		3.18	3.38			
③1 ねらい(目指す生徒像)を明確に意識した行事運営がなされ、成長を促している	3.30	3.26	3.28			
③2 共通実践事項「清掃指導」が意識され、学校全体で取組の充実が図られている		3.03	3.03			
③3 奉仕活動に対する意識を高め、日常的にボランティア活動の推進が図られている	3.11	2.95	2.91			
③4 共通実践事項「教室環境づくり」が意識され、学校全体で取組の充実が図られている		2.95	3.09			

＜3年間の比較＞

- ☆過年度と比較可能な20項目中9項目においては、過去2年間の結果よりも高い得点となっている。
 ★過年度と比較可能な20項目中で、得点が3点に満たない項目は次の5項目である。(課題)
 ⑩保護者やPTA等との密な連携、学校経営への積極的な参画 (3年間で、今年度が最も低い得点となった)
 ⑨開かれた学校づくりの推進、地域人材の活用、連携 (3年間で、今年度が最も低い得点となった)
 ②1家庭学習の改善・充実 (3年間で、今年度が最も低い得点となった)
 ②3個別指導の充実・強化 (昨年度より高くなったが、まだ3点に届かない)
 ③3奉仕活動に対する意識、日常的なボランティアの推進 (3年間で、今年度が最も低い得点となった)

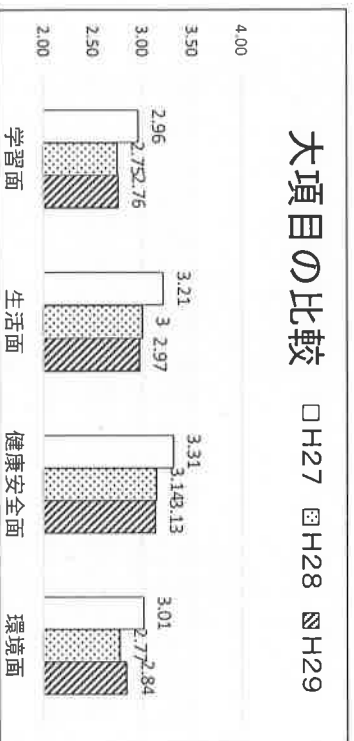
＜中間評価との比較＞

- ☆中間と比べ、34項目中18項目においては、高い得点となっている。
- ☆次の7項目については、中間と比べ、得点が特に上昇した。
 ⑤道徳教育の充実、⑧インクルーシブ教育の理念が学校全体で共有
 ⑪関係職員(養護教諭、SC、サポーター等)や関係機関等との適切な連携
 ⑬危機管理や緊急事態等への対応に係る共通理解や訓練 ⑦挨拶運動の充実、
 ⑪ねらい(目指す生徒像)を明確に意識した行事運営 ②共通実践事項「清掃指導」が意識され、学校全体で取組の充実
- ★次の9項目については、中間と比べ、得点が特に落ち込んだ。(課題)
 ①学校教育目標と運動した各種目標等が設定され、学校全体で意識化が図られている。
 ⑦全体計画や年間計画に基づき、ねらい等を明確にした総合の授業が行われている
 ⑩生徒指導方針等が全職員で共通理解され、教師個々の役割と責任が果たされている
 ⑦小中一貫教育に関する共通理解が図られ、組織的・計画的に推進 ⑩授業改善が推進されている。
 ②1家庭学習の改善・充実 ②2学習評価の改善・充実 ②4保健体育の授業改善 ②9学級、学年経営の充実

平成29年度 学校生活アンケートその1 (教師の3年間の比較) 最終

※数字の細かいけは、ポイントが3点以下の項目(課題となっている項目)

大項目	評価項目(小項目)	小項目得点			
		H27最終	H28最終	H29最終	
学習面	1 目標ややる気をもって、積極的に授業に臨むことができたか	3.20	3.00	3.06	□ H27 最終 2.90 □ H28 最終 3.00 ▨ H29 最終 3.00
	2 宿題や提出物等は期限内にしっかりと取り組むことができたか	3.08	2.94	2.86	
	3 分からないことがあっても、質問するなど最後まであきらめず取り組むことができたか	3.08	2.63	2.56	
	4 授業中は、自分の考えをノートに書いたり、発表したりすることができたか	3.08	2.87	2.83	
	5 家庭学習(小検中サイコーノート)を毎日きちんと行うことができたか	2.75	2.73	2.79	
	6 新聞やニュース等を通して、社会の動きについてに関心を持つことができたか	2.73	2.50	2.69	
	7 目標や計画を立てて家庭学習に取り組むことができたか	2.79	2.55	2.55	
	8 毎朝、遅刻や欠席をせずに登校することができたか	3.38	3.39	3.47	
	9 授業や各種活動の時間を守るなど、時間にけじめをつけることができたか	3.15	3.06	2.89	
	10 いつでも気持ちよくあいさつをすることができたか	3.03	2.50	2.58	
生活面	11 目上の人や先生方に対して、正しい言葉遣いや礼儀正しい態度で接することができたか	3.00	2.71	2.75	
	12 服装や身なりを整えることができたか	3.18	3.18	3.31	
	13 学校内の施設や設備、備品などはマナーを守って正しく利用することができたか	3.33	3.06	3.08	
	14 善悪の判断をしっかりと行って行動することができたか	3.33	2.97	2.97	
	15 いじめや悪ふざけをせずに、仲良く学校生活を送ることができたか	3.18	2.94	2.69	
	16 各種コンクールや大会、学校行事等で自分を積極的に生かすことができたか	3.38	3.15	3.11	
	17 学級が自分の居場所として感じられ、安心して楽しく過ごすことができたか		3.10	3.00	
	18 学級の一員として、学級集団の質を向上させるよう意識して過しているか	3.30	2.91	2.86	
	19 自分の体調に気を配り、健康な生活を心がけることができたか	3.58	3.21	3.28	
	20 危険なことを判断したり、安全に気を配って行動することができたか	3.33	2.97	2.83	
健康安全面	21 日常的に運動を行うなど、体力の向上に努めることができたか	3.13	3.03	3.14	
	22 部活動に積極的に参加し、真剣に取り組むことができたか(運動部活動生徒)	3.20	3.34	3.26	
	23 机や棚など、教室内を整理整頓することができたか	2.98	2.71	2.86	
	24 環境保全やボランティア活動などを積極的に行うことができたか	2.83	2.69	2.80	
環境面	25 清掃活動は、責任を持って、最後まで、丁寧に取り組むことができたか		2.91	2.86	



★2つの大項目で、今年度の得点が、3年間で最も低い得点となっている

★過年度と比較可能な23項目で過去最高点となったのは僅かに3項目のみ(家庭学習、遅刻や欠席せず登校、服装身なり)である。8項目においては過去最低点となった。(18から8へ)

★25項目中の16項目において、得点が3点に届いていない。
(昨年度は15項目が、得点3点未満)

平成29年度 保護者アンケート(3年間の比較)

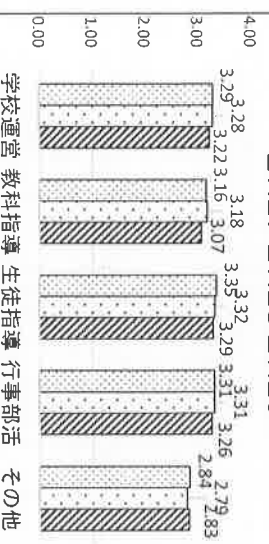
2018. 1. 26

大項目	評価項目(小項目)	小項目得点		
		H27	H28	H29
学校運営に関すること	1 学校は、教育目標や教育内容等に関して、各種たより、ホームページ、授業参観、説明会等で理解を図るよう取り組んでいる。	3.21	3.21	3.16
	2 学校は、保護者や地域等と連携して教育活動を進めている。	3.21	3.19	3.14
	3 学校は、家庭への連絡や相談などを適切に行っている。	3.21	3.21	3.15
	4 学校は、学習環境(施設、保清、掲示物等)の整備に努めている。	3.40	3.36	3.37
	5 学校は、電話や接客、事務処理等の対応を適切に行っている。	3.34	3.38	3.22
	6 学校は、安全管理や事故防止、防災等に適切に取り組んでいる。	3.35	3.35	3.26
教科指導等	7 学校は、生徒の学力向上に向けた取組の充実を図っている。	3.21	3.20	3.11
	8 学校は、教え方や教材等を工夫し、わかる授業づくりを行っている。	3.13	3.18	3.05
	9 学校は、子どもの能力や努力を適切に評価している。	3.16	3.18	3.04
	10 学校は、生徒の将来の進路や職業の適切な指導を行っている。	3.12	3.18	3.09
生徒指導等	11 子どもは、毎日楽しく学校生活を送っている。	3.49	3.47	3.41
	12 先生方は、熱意と責任をもって子どもの指導に当たっている。	3.42	3.39	3.30
	13 学校は、子どもの話をよく聞くなど生徒理解に努めている。	3.26	3.26	3.17
	14 学校は、挨拶やルール、マナー等の指導を適切に行っている。	3.36	3.30	3.25
	15 学校は、喫煙や不良行為等に対し適切に指導を行っている。	3.31	3.26	3.37
	16 学校は、いじめや暴力等に対し毅然と対応している。	3.28	3.21	3.25
行事・部活動	17 子どもは、各種行事に楽しく参加している。	3.48	3.44	3.40
	18 学校行事の数や内容は適当である。	3.35	3.41	3.29
	19 部活動の活動時間や内容、指導体制等は適切である。	3.21	3.18	3.15
	20 部活動は、顧問と保護者の適切な連携のもとで行われている。	3.19	3.22	3.17
その他	21 私は、PTA活動に積極的に参加している。	2.19	2.22	2.37
	22 私は、授業参観、教育懇談、進路講演等に積極的に参加している。	2.63	2.66	2.64
	23 家庭で、学校のことをよく話題にする。	3.17	3.16	3.13
	24 家庭で、家庭学習や読書の習慣づけについて気を配っている。	2.89	2.79	2.90
	25 学校のお知らせ等は、毎回きちんと届いている。	2.92	2.81	2.79
	26 家庭で、ことは違いや礼儀等についてのしつけを行っている。	3.25	3.13	3.14

H27
 H28
 H29

大項目の比較

■ H27 ■ H28 ■ H29



＜大項目＞

☆全ての項目(学校の取組)において3点を超え、3年間で大きな変化は見られない。

★その他(家庭の取組)においては得点が3点にも届いていない。
昨年度よりは、得点が高くなっている。

＜小項目＞

☆全ての項目(学校の取組)において3点を超えている。また、「不良行為等」に対し適切に指導し、3年間で最も高い。

◇「電話や接客等の対応」、「わかる授業づくり」、「能力や努力を適切に評価」[学校行事の数や内容]については、昨年度より大きく得点を下げている。

☆その他(家庭の取組)において、「PTA活動に積極的参加」の項目で過去最高、「家庭学習の習慣づけ」で、昨年より高い。

★その他(家庭の取組)において、4項目が3点にも届いていない。
※全体的に学校の取組に対しては、一定の評価をいただいている。